

在宅取組型（幼児園）

学校名等	神戸町立神戸幼児園
実施日時	10月22日（月）～10月28日（日）
会場	各家庭
参加人数	238名
学習課題（分野）	在宅取組型
運営者の願い	絵本は、幼児期に良い影響をもたらすものであるとは理解していても、家庭で読み聞かせをこまめに実施している家庭は少ない。また、スマホやタブレット等の普及から、保護者や子どもたちの絵本離れを感じている。しかし、子どもたちは、本来、絵本が好きで、園での読み聞かせを楽しみにする姿が見られる。この取り組みにより、絵本の良さを改めて保護者に伝えていきたい。

学 習 の 内 容

< 取り組みについて保護者へのお願い >

- 在宅取組型『絵本タイム習慣』について各家庭へ文書を配布する。
 期間：10月22日（月）～10月28日（日）
 内容：親子で絵本タイム
 対象：全園児と保護者
 取り組み方：家族が読み聞かせ、子どもからの読み聞かせ
 一緒に絵本を囲める時間をもつ
 効果：コミュニケーションが深まり、親子の絆が増す。
 読む人の声色や表情を吸収することで脳が鍛えられ、
 集中力、記憶力アップに繋がる。
 たくさんの言葉に触れることで語彙が増える。
 ☆各家庭で取組足跡を残せるように記録用紙を配布。
 園に提出する。



期間を1週間にしたことで、無理なく取り組めた。また、10月という時期も取り組みやすかった。

< 取組後の感想より >

- 普段はほとんど読んであげられなかったが、今回の取り組みのおかげで意識して絵本タイムを作ることができた。
- 親子で触れ合う時間時間もこれからも作っていきたい。
- 改めて子どもとの時間、絵本タイムが大切なことだと感じた。
- 今までより絵本が好きになってくれた。本に興味をもついい機会になった。
- 一日1冊の本を選ぶことから嬉しそうな姿が見られた。
- 自ら絵本を開いて読もうとする姿があった。
- 兄弟で読み聞かせをしている姿に癒された。
- 引き続き、絵本タイムを作るようにしたいと思う。
- 絵本タイムは、自分自身も子どもと向き合い、リラックスできる時間となり嬉しかった。
- 以前よりも親子での時間が深まったように感じた。
- この取り組みを通して、子どもが喜んでくれたことがうれしかった。
- いつもより絵本タイムの時間が増えて、楽しい1週間となった。
- 毎日は大変だったが、家族みんなで取り組みことができた。
- 絵本が好きになり、心の豊かな子になってほしいと思う。



絵本選びの参考にしてもらうため、保護者から出された各家庭での『おすすめの絵本』を一覧表にして、家庭に配布した。今回の進級祝い品の絵本もその中から選んだ。

< 取り組みを通して >

- 本タイムの取り組みを通して、たくさんの方が親子のコミュニケーションの時間となり、兄弟姉妹、家族みんなで絵本を囲んでもらうことができた。絵本タイムの時間や場所は、それぞれの家庭で様々であるが、就寝前の時間に絵本タイムの時間を設けている家庭が多いようだった。また、『絵本を読んでもらった日は、読めなかった日より早く寝つくことができた』『絵本タイムの大切さを感じ、今後も続けていきたい』との声もあった。今後も、親子でふれあうきっかけのひとつが『絵本タイム』になれば幸いに思う。
- 『絵本を家庭に』という願いから、今年度は、進級・卒園祝い品として絵本を贈与することにした。未満児・3・4歳児は、10冊ほどの中から、親子で選択することにしたことで、掲示した絵本のパンフレットを親子で見ながら絵本を選ぶ姿が見られ、楽しみにしている様子が伝わってきた。

